

地球観測衛星データの利用拡大に向けた
ビジネス・インキュベーション施策

衛星データを活用した
新たなビジネスソリューション構築のための
パイロットプロジェクト

募集要項

平成26年2月

宇宙航空研究開発機構(JAXA)
第一衛星利用ミッション本部
衛星利用推進センター

1. はじめに

現在、数多くの人工衛星が地球上空の軌道上を飛んでおり、多くのデータを地球に届けています。特に地球観測衛星は、さまざまな搭載センサーにより、多種多様な地球のデータを取得ことができ、これらを応用することで、農林水産業、漁業、資源・エネルギー産業など、さまざまなビジネスソリューションに役立てられることが期待されています。

しかしながら、実際に衛星データの利用にあたっては、どのデータを使えばよいのか、どのようにしたらビジネス上での課題を解決できるのか、衛星データを利用してみたいが高価で実証ができない等、利用のハードルが高いように感じている企業の方も多々あります。

JAXA は、このような企業の方々に対し、ビジネスで活用できる衛星データを提供し、技術的な支援を行うことで、新しいビジネスソリューション、ビジネスモデル(バリューチェーン)を構築していただきたいと考えています。

また、既に衛星データを利用いただいている企業の方とも連携・協力することで、新しいビジネスモデルが生まれることを期待しています。

本パイロットプロジェクトは、地球観測衛星から得られた衛星データが、多彩なビジネスシーンで活用され、ビジネスに役立つ社会インフラとして、衛星データの利用が定着することを目指しています。

利用する衛星のデータは JAXA 衛星にはこだわりません。国内外の他機関の衛星も含め、地球観測衛星のデータを我が国の産業界の皆様へビジネスツールとして利用していただきたいと考えています。

2. 公募の概要

本パイロットプロジェクトは、企業の方々が衛星データを受け取ってから、それをビジネスに使えるように加工し、最終的に利用に至るまでの一連のビジネス活動を対象としています。このため、アプリケーションの開発者、サービス・ソリューションの提供者(コーディネータ)、最終プロダクトの利用者などから構成される企業グループ(チーム)と JAXA の連携・協力を想定しています。

2.1 連携協力の基本

(1) JAXA は公募により選定された企業グループ(代表企業)と連携協力のための契約(共同研究契約に準拠)を締結させていただきます。なお、協力内容によっては、別途、技術研究組合等を組織し、JAXA もその構成員として活動することも可能です。これら活動の形態は、JAXA と企業グループでの調整により決定します。

(2) 選定にあたっては、提案内容に基づき、以下のタイプからそれぞれ企業グループを採択します。採択数は、原則、一分野につき一企業グループを予定しています。

[タイプ A] これまでに衛星データの利用実績がある分野

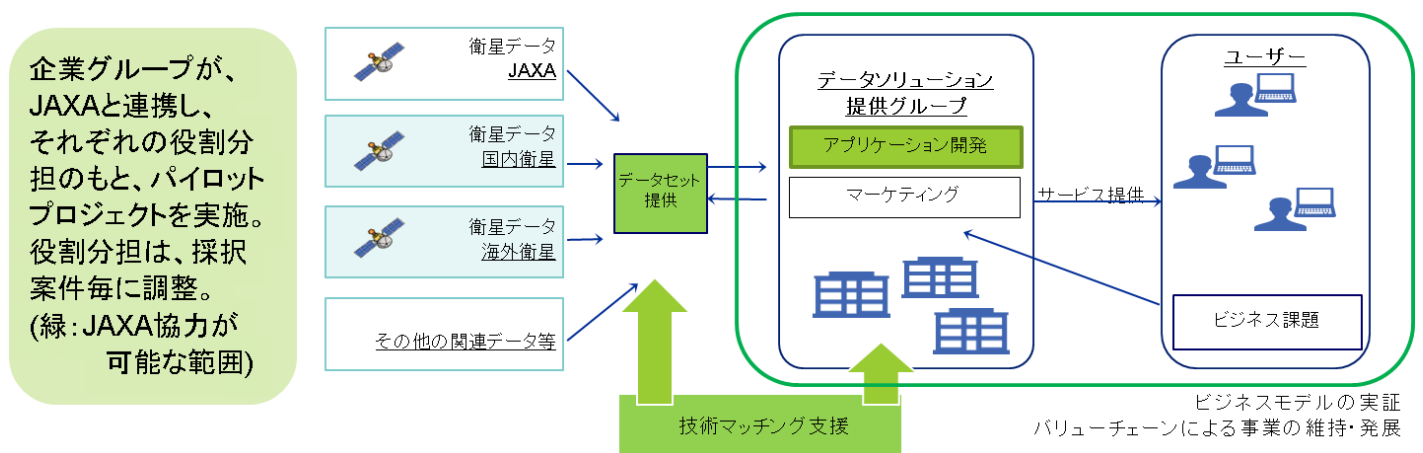
[タイプ B] 新規に開拓する利用分野

(3) 本プロジェクトの枠組みは、最長3年間とします。連携・協力のスコープは、衛星データを利用するためのアプリケーション開発及び実証、ビジネスモデルの実践までとしています。ただし、1年ごとに継続可否の審査を行います。

なお、選定されたビジネスが事業化されたと JAXA が判断した際には、本パイロットプロジェクトは終了となります。また、企業グループの不正又は不当な行為等が見受けられたと JAXA が判断した場合には、JAXA はプロジェクトを終了することができるものとします。

(4) JAXA は、役割分担として、ソリューションに必要な衛星データセットを、企業グループに直接提供します。この際、JAXA の提供する衛星データセット/プロダクトは、JAXA 衛星に限定しませんが、提案内容に基づき、提供する数量・種類等について調整させていただきます。衛星データの取扱いについては各衛星のデータポリシー等に従うものとします。

- (5) JAXA は、解決すべき課題によっては、企業グループからの要請があり、その必要性が認められる場合は、技術コーディネート及びアプリケーションの開発に関しても協力します。
- (6) 本プロジェクトを実施するために必要な経費は、JAXA、企業グループともに各々が確保し、負担します。JAXA と企業グループ間の資金の授受は行いません。
- (7) 本プロジェクトに基づき得られた知的財産権は JAXA と企業グループ共同で所有するものとし、その持分は貢献度合いに応じます。なお、貢献度合いによっては企業グループのみに当該権利が属することもあり得ます。
- (8) プロジェクト終了時には、企業グループはビジネスモデルを含むプロジェクトの成果について速やかに報告書を作成し、JAXA に提出していただきます。報告書を含む成果については JAXA 及び企業グループの共有とし、その持分は貢献度合いに応じます。
- (9) 連携・協力にあたり、プロジェクトの採択後、JAXA は企業グループ名及び分野のみを公開します。プロジェクト終了時にはパイロットプロジェクトの結果を外部に公表いたします。なお、公表の範囲については予め企業グループと調整を行います。
- (10) 本プロジェクト終了後も、JAXA は、継続してビジネスを実施するための検討について必要に応じてご協力させていただきます。



2.2 選定方法及び選定基準等

選定は、外部審査委員を含めた審査委員会(委員長:第一衛星利用ミッション本部長)で行い、タイプA/タイプB合わせて、年間3~5件程度の採択を予定しています。審査は、提出された書類に基づく書類選考になりますが、必要に応じて選定前にヒアリングをさせていただく場合があります。

選定は、原則、一分野一企業グループとしますが、JAXA が提供するデータセットの共通化が図れる場合など、状況によっては複数の企業グループを選定する場合があります。なお、分野を重複して代表企業が選定されることはありません。(代表企業にならなければ、複数の提案は可能です。)

なお提出された書類及びその内容については秘密情報として扱い、厳重に管理されます。

選定における評価の基準は、以下を基本とします。

- ビジネスモデル(バリューチェーン)に実現性及び継続性又は新規性があること
- 衛星データ及びアプリケーションが、ソリューションの有効な要素であること
- 衛星データ利用ビジネスの成功事例になり、ビジネスインキュベーションを促進するモデルとなり得ること
- 衛星データの活用、衛星利用の拡大、社会課題の解決等に資すること
- 上記要素に関する具体的な根拠・妥当性

3. 応募の要件等

3-1 応募資格

原則として、JAXA と契約を締結することが可能な国内の企業または法人を代表企業とした、複数の企業で構成される企業グループ(チーム)とさせていただきます。一社で単独提案することも可能ですが、最終的な利用を含めたバリューチェーンを組めることが前提となります。

応募にあたっては、グループ(チーム)内での各担当企業の分担が明確に分かる体制表などを提出していただきます。その際、グループ(チーム)内にて代表企業を1社決めていただきます。選定後は、提案時に記載いただいた代表企業1社(法人を代表する者)と契約を締結します。代表企業にはグループ(チーム)内をとりまとめ、調整し、契約条件を遵守させる役割を担っていただきます。

3-2 応募期間

平成26年度分として、平成26年2月12日～3月14日(必着)

※ 選定結果通知は、4月下旬～5月中旬頃を予定しています。

3-3 応募方法

(1) 応募書類

○別紙の提案書：1部

※なお、その他補足資料等は任意でご提出いただけます

○企業グループの会社案内等

(2) 応募方法及び応募先

上記書類を郵送もしくはE-Mailでご提出ください。

応募先：

<郵送>

〒305-8505

茨城県つくば市千現 2-1-1 筑波宇宙センター

第一衛星利用ミッション本部 衛星利用推進センター

パイロットプロジェクト事務局

<E-mail>

SATELLITE-BIZ@jaxa.jp

3-4 お問い合わせ先

何かご不明な点がございましたら、以下のアドレスまでメールにてお問い合わせください。

SATELLITE-BIZ@jaxa.jp

(別紙)

平成 年 月 日

提案書

提案件名	
応募枠	Aタイプ or Bタイプ (選択してください)
代表企業	【企業名】
	【所属・役職】
	【氏名】
	【所在地】
	【TEL】
	【Email】
	【プロジェクトでの主な役割】
	【専門分野、保有特許等】
	【その他特記事項】

提案企業グループのメンバーと主な役割

企業名
所属・役職：
氏名：
所在地：
TEL：
Email：
プロジェクトでの主な役割：
専門分野、保有特許等：
その他特記事項：

企業名
所属・役職：
氏名：
所在地：
TEL：
Email：
プロジェクトでの主な役割：
専門分野、保有特許等：
その他特記事項：

企業名
所属・役職：
氏名：
所在地：
TEL：
Email：
プロジェクトでの主な役割：
専門分野、保有特許等：
その他特記事項：

企業名
所属・役職：
氏名：
所在地：
TEL：
Email：
プロジェクトでの主な役割：
専門分野、保有特許等：
その他特記事項：

1. 提案の概要

今回の提案の概要について、記載をお願いします。

2. 提案するビジネスモデル（バリューチェーン）

今回提案するビジネスモデル（バリューチェーン）の詳細及びその特長、ユニークさなどの記載をお願いします。ポンチ絵や図を用いていただいても構いません。

3. 提案するビジネスモデルの新規性、競合優位性、差別化要因など

2. で提案されたビジネスモデルが従来のモデルに比べて新しい点、優れている点、差別化できる点などについて、記載をお願いします。

4. 衛星利用の拡大、社会課題への貢献

今回提案された内容が、衛星データの活用に資するか、どのように衛星利用の拡大に貢献できるか、社会課題への解決につながるかなどについて、記載をお願いします。

5. 企業グループで開発するアプリケーションの詳細

本ビジネスモデルを実施するにあたって必要なアプリケーションの概要、既に開発済の場合はその利用実績、今後の開発要素の要否、課題などについて、記載をお願いします。アプリケーションの開発を行わない場合は、衛星データの活用の方法などについて記載ください。








6. 想定される市場規模

想定されているビジネス市場全体の規模、本プロジェクトによる市場の規模、今後数年間の市場予測などについて、記載をお願いします。

7. プロジェクトの事業計画

(1) 年度毎の成果と作業スケジュール

プロジェクトの実施期間における年度毎の目標、成果、実施事項、資金計画、収益予測など事業性について、記載をお願いします。また、以下の表への記入をお願いします。

	初年度目	2年度目	3年度目
主要成果			
作業計画 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	  	 	 
資金計画			

(2) 実施体制

本プロジェクトの実施体制、企業グループのメンバーの役割分担等について、記載をお願いします。

8. 必要となるデータセット

今回、具体的に想定しているデータの種類・数・時期等がある場合、記載をお願いします。衛星データの詳細が分らない場合は、どのようなデータをどのような場面で活用したいか、可能な範囲で記載をお願いします。

9. 必要とする JAXA の支援

本プロジェクトの実施にあたって、JAXA の技術コーディネートや開発支援等が必要な場合、その具体的な内容について、記載をお願いします。衛星データセットの提供以外に支援が必要ない方は、記載の必要はありません。

10. プロジェクト終了後の計画

本プロジェクト終了後の事業計画について、具体的にどのように継続することを想定しているか、技術、事業計画、資金等含め、記載をお願いします。

1 1. 事業リスク要因とその対応策

現時点で判明している事業のリスクや課題があれば、その要因と対応策を含め、記載をお願いします。

1 2. その他特記事項

上記項目で記載できなかった点、特筆すべき点などがあれば、記載をお願いします。

※なお、本提案書の他に補足資料等をご提出いただくことも可能です。